

別紙1 研修概要書

名 称	第8回 函館市医療・介護連携多職種研修会
目 的	・多職種連携によるこれまでの地域の変化と今後の課題を共有し、本人（患者・利用者）の想いを叶える支援力を高めるために、医療・介護の連携と協働を強化する。
目 標	・本人の想いを叶える支援を目指し、医療・介護関係者が互いに努力・協力してきたこれまでを共有する。 ・本人の想いを叶える支援のため、今後の多職種連携の必要性を考える。 ・上記を踏まえ、明日から自分たちができることを考える。
共 催	函館市（函館市医療・介護連携推進協議会） 函館市医師会 （函館市医療・介護連携支援センター、ほくと・ななえ 医療・介護連携支援センター）
日 程	令和5年10月21日（土） 14：00～17：00（13：30～受付開始） ※研修終了後、関係多職種間の「顔の見える関係づくり」や率直な意見交換を目的とした懇親会を予定 （懇親会は状況により中止となる場合がございます）
会 場	函館国際ホテル （住所：函館市大手町5-10 電話：23-5151）
テ ー マ	「点から線につながろう」 ～本人の想いを聞いていますか？連携による地域の変化と今後の課題～
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム （座長） 医療法人道南勤労者医療協会函館稜北病院 副院長 総合診療科科長 川口 篤也 先生 （登壇者） 【連携による地域の変化と課題】 ○急変時対応の場面での取組報告 「高齢者救急医療」の現状 市立函館病院 救命救急センター センター長 武山 佳洋 様 ○入退院支援の場面での取組報告 「おうちに帰りたい」を叶えるために ～看護師の私ができること～ 函館五稜郭病院 地域連携・PFMセンター 看護師主任 井上 美佳 様 【本人の想いを叶えるための支援】 ○日常の療養支援から看取りの場面での取組報告 「自分らしい生き方」に寄り添う 小規模多機能ホーム らしさ七重浜 ホーム長 波並 孝 様 ・グループワーク ・意見交換・質疑応答
参加対象	函館市・北斗市・七飯町の医療・介護関係者
参加人数	250名程度 ※定員になり次第、締め切らせていただきますので、お早めにお申込みください。
参加費用	無料（懇親会参加費用は別途掛かります ※金額は3,500円程度）
備 考	アンケート実施